

概要版



第2期  
東温市まち・ひと・しごと創生  
総合戦略



令和2年3月  
愛媛県 東温市

# 01 総合戦略について

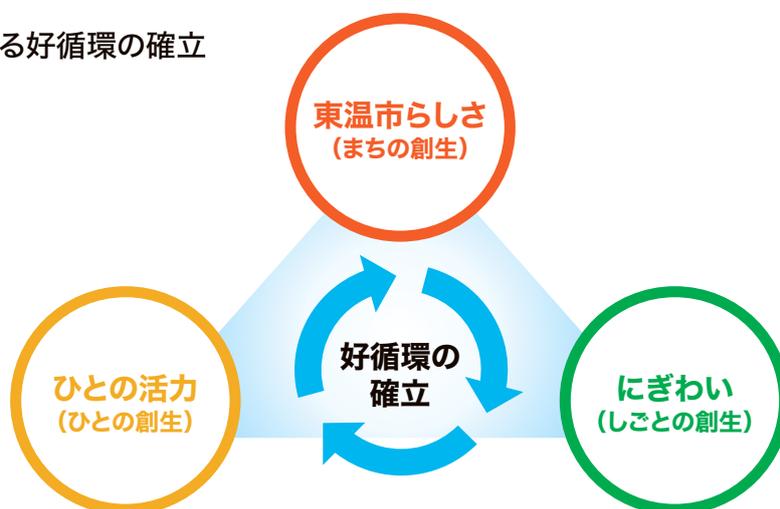
## (1) 計画策定の背景と趣旨

東温市では、2015年(平成27年)10月に「東温市人口ビジョン」及び「東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、2060年(令和42年)に30,000人の人口規模を維持する将来展望に向け、4つの基本目標を設定して取組を進めてきました。

また、策定に当たっては、国の総合戦略に盛り込まれた「政策5原則」(自立性、将来性、地域性、直接性(総合性)、結果重視)の趣旨を踏まえ、さらに本市独自の観点として「独自性」と「新規性」を強く意識し、ゼロベースで施策立案を行ってきました。

第1期総合戦略が2020年(令和2年)3月に計画期間を終了することから、引き続き、「第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

### ◆総合戦略による好循環の確立



### ◆国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における政策5原則抜粋

#### (1) 自立性

地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。

#### (2) 将来性

施策が一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。

#### (3) 地域性

地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。

#### (4) 総合性

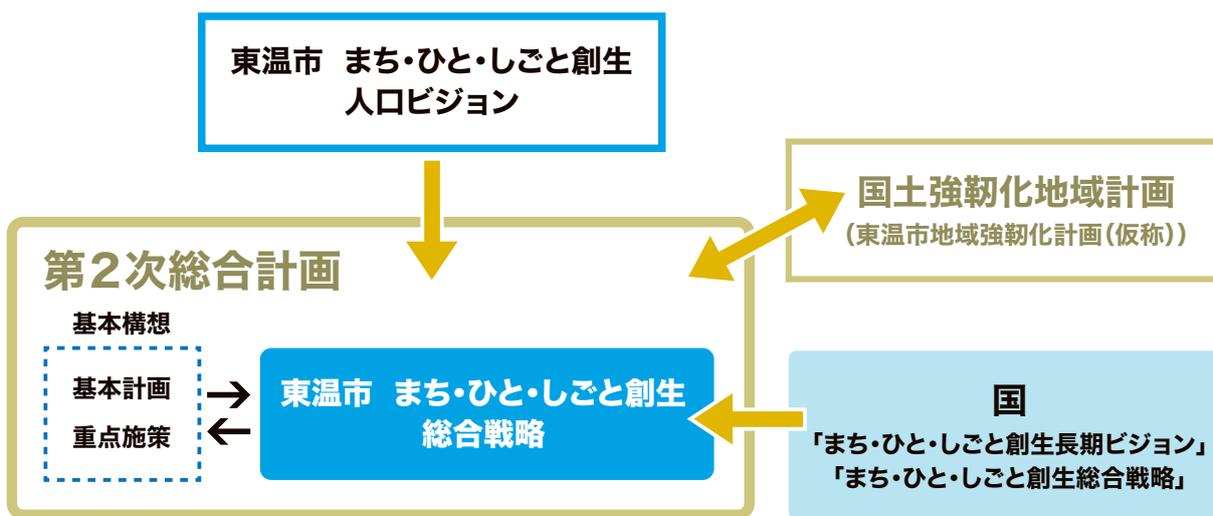
施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。

#### (5) 結果重視

施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行う。

## (2) 計画策定の位置づけ

本戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」であり、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して策定したものです。また第2次総合計画や国土強靱化地域計画と整合を図るものとします。



## (3) 計画の期間

本戦略の期間は、令和2年度から令和7年度までの6年間とします。なお、社会環境の変化、施策の進捗や効果の検証を行いながら、必要に応じて見直すものとします。

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
策定	第2期 東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
		評価・検証				策定

# 02 総合戦略の方向性

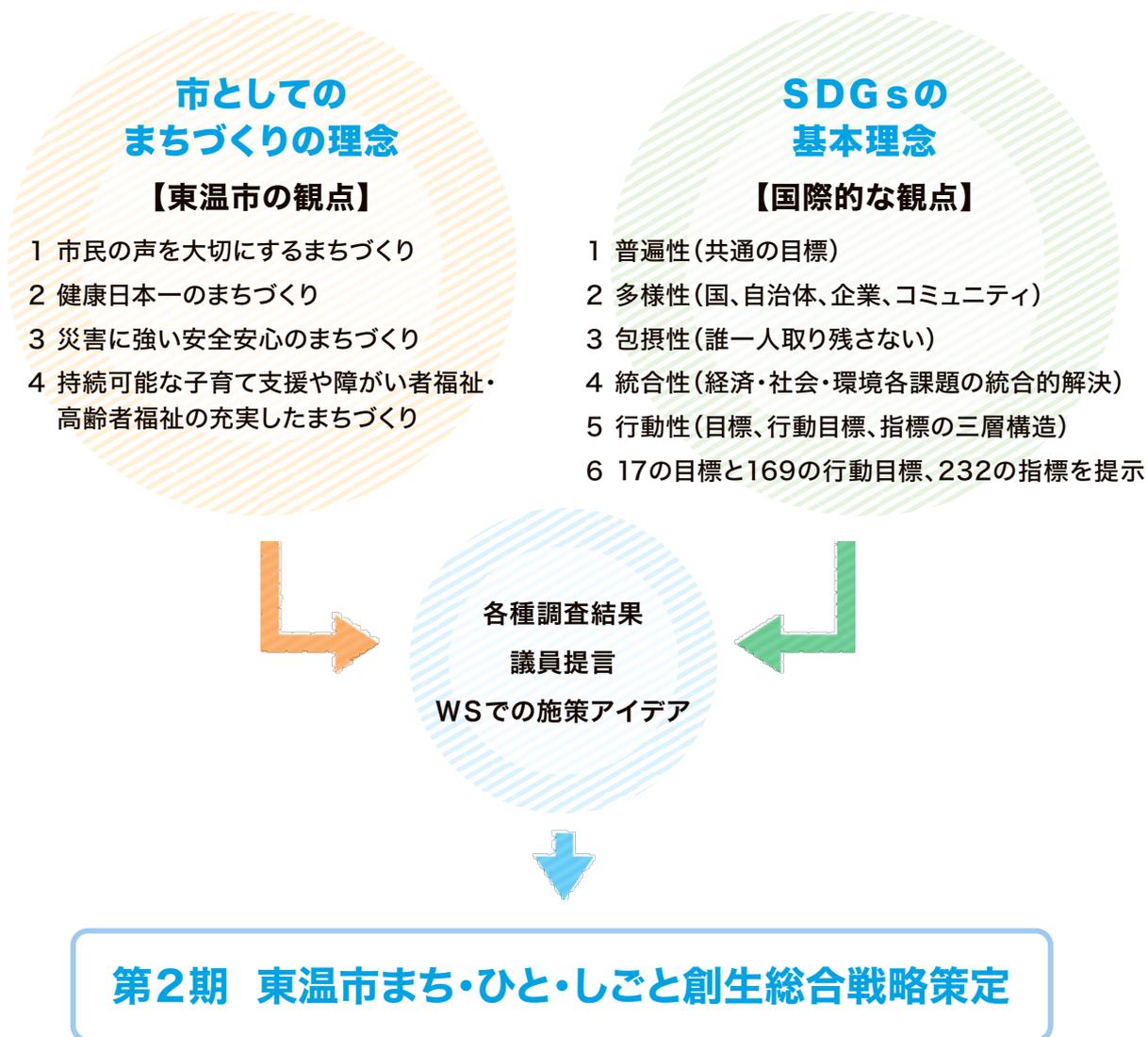
## (1) 施策立案の方針

本戦略では、「持続可能な地域社会の構築」をテーマに第1期総合戦略の4つの基本目標を踏まえ、本市の資源を最大限に活用しながら、定住人口や交流人口を増加させ、地域の自立度と経済力を高める具体的かつ効果的な取組を推進します。

### 3つの視点

- ① 市の特性、強みを活かす
- ② 若い世代の希望をかなえる
- ③ 新しい挑戦を応援する

#### ◆策定方針



## (2)SDGsを踏まえた策定へのアプローチ

- 1 目指す未来像から今の行動を考える(バックキャスティング)
- 2 国レベルの課題を地域レベルの課題に置き換える(ローカライズ)
- 3 地域内経済とグローバル経済との使い分け(スリム化とイノベーション)
- 4 庁内各分野が連携し、統合的な施策を組む(縦割り構造の変革、コストダウン)
- 5 事業者、関係団体との水平的な協働関係を構築する
- 6 市民、地域コミュニティとの水平的な協働関係を構築する(挑戦する市民の増加)
- 7 市としてのまちづくりの視点とSDGs視点の両面からチェックし、見落としや過度の偏りをなくす
- 8 上記に配慮しつつ、第1期総合戦略同様、創生本部・戦略会議の議論により、市の特性を加味し「選択と集中」による重点化を行う

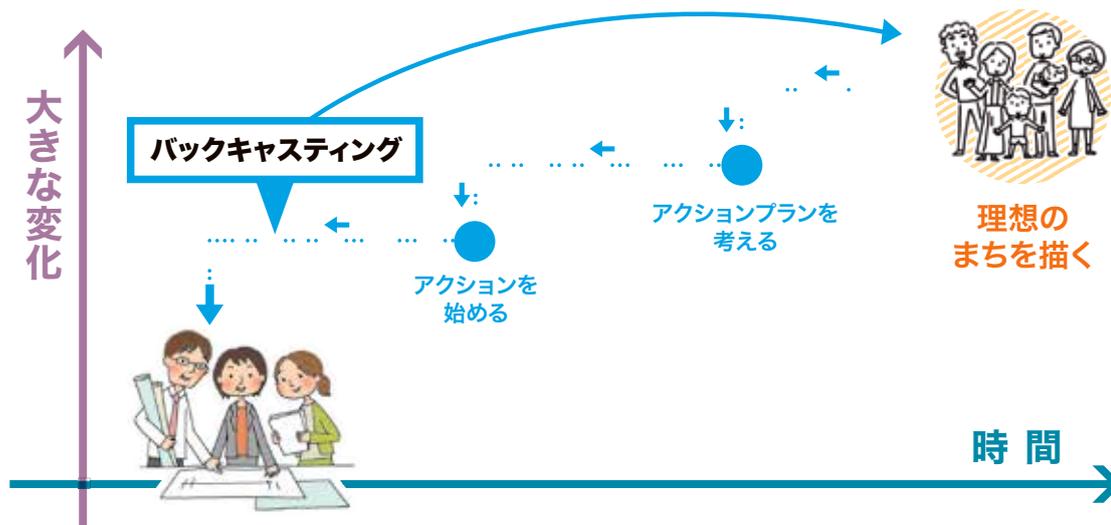
### 参考にする視点(SDGs)

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

本戦略の策定に当たっては、SDGsの理念を参考にしながら、策定しています。



### ◆参考としたいバックキャスティング\*の考え方



\*バックキャスティング: 望ましい未来の姿を描き、そこから逆算して現在取り組むべき施策を考える手法です。(長期的な視点を持った施策立案に有効です。)

\*フォアキャスティング: バックキャスティングとは逆に、現在起きている課題を把握し、その課題を解決するための施策を立案する手法です。(確実な課題解決が求められる分野で有効です。)

# 03 総合戦略の具体的な施策

## 基本目標1

誰もが安心して働ける、多様で魅力的なしごとの場をつくる

## 成果目標

目標項目	単位	実績値(H30)	目標値(R6)
市内のしごとの場の創出数	人	189	<b>300</b>

※しごと：企業立地による雇用数、起業者数、新規就農者数、Uターン就農者数等とする。

## 策定設定

### 強み・機会

- ◆ 高速道路、川内IC、幹線国道など市外からのアクセスが良い
- ◆ 災害が少なく企業の立地条件が良い
- ◆ 「製造業」、「医療・福祉」の雇用力がある
- ◆ 良質な米生産地である/豊かな森林資源がある
- ◆ 市内の都市部と山間部の交通アクセスが良い
- ◆ 愛媛大学医学部キャンパスが立地している
- ◆ 地域ブランド「SAKURA select」において、地域資源の掘り起こしから商品開発、情報発信まで一貫して取り組める体制が構築されている



愛媛大学医学部附属病院

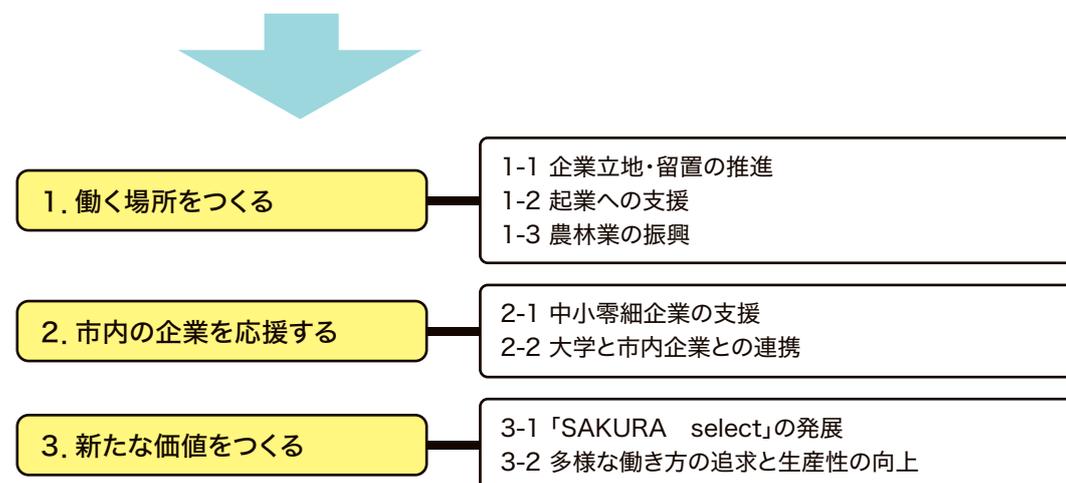


川内インターチェンジ

### 弱み・脅威

- ◆ 農林業の担い手が減少している
- ◆ 中山間地域が多く、経営基盤が弱い
- ◆ 小規模農業が多く、農家が高齢化している
- ◆ 企業立地に適した宅地が少ない
- ◆ 市内に立地する事業所の多くが中小零細企業である

### 施策内容



## 基本目標2

# 住みよさを全国に広くアピールし、新しい人の流れをつくる

## 成果目標

目標項目	単位	実績値(H26~H30年累計)	目標値(H31~R5年累計)
社会動態(転入-転出)	人	353	<b>350</b>

※住民基本台帳年報より算出

## 策定設定

### 強み・機会

- ◆ 過ごしやすい温暖な気候である
- ◆ 県都「松山市」に隣接している(通勤圏内)
- ◆ 松山市のベッドタウンとして住環境が整っている
- ◆ 愛媛大学医学部附属病院を中心に医療体制が整っている
- ◆ 都市と自然との程よい調和がある
- ◆ 市外からの転入者が増加している
- ◆ まちへの愛着をもっている人が多い
- ◆ 東温市移住・定住支援ポータルサイトや公式SNS等でターゲットに合わせた記事や写真を掲載している
- ◆ 坊っちゃん劇場や東温アートヴィレッジセンターなど、文化・芸術活動の拠点がある
- ◆ 重信川沿いにサイクリングコースが整備されている



移住希望者への現地案内

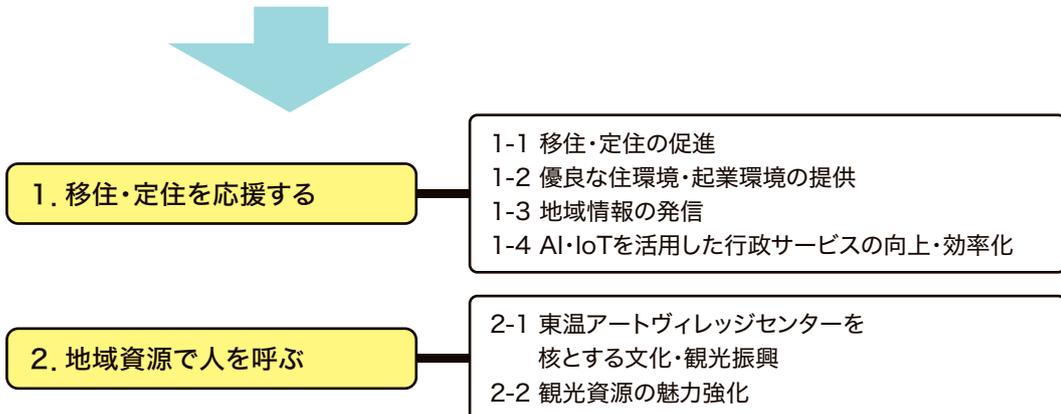


文化・芸術のまちづくりが進む様子

### 弱み・脅威

- ◆ 県外からの認知度が低い
- ◆ ベッドタウンとしての認識が多く、印象が薄い
- ◆ 都市部と山間部で利便性に格差がある
- ◆ 商業施設に空き店舗が生じている

### 施策内容



### 基本目標3

## 出会い、子どもを産み、育てていく希望がかなうまちをつくる

### 成果目標

目標項目	単位	実績値(H30)	目標値(R6)
出生者数	人/年	211	<b>250</b>

※人口動態統計調査より算出

### 策定設定

#### 強み・機会

- ◆市内在住の縁結びサポーターがいる
- ◆児童福祉施設が充実している
- ◆若年女性(15-49歳)が比較的多い
- ◆東温市で子育てをしたいと思う親の割合が高い
- ◆児童館が3つあり、年間300人以上の親子向けイベントが開催されている
- ◆児童館で開催されている子ども用品のリサイクルイベントが好評である
- ◆地域と学校とが密に連携を図っており、各小中学校では米作りや伝統文化などについて学べる機会がある



子育て世帯へのサポート体制の充実

#### 弱み・脅威

- ◆未婚率が高い
- ◆晩婚化、晩産化が見られる
- ◆高等教育については市外、県外の高校、大学等に依存している
- ◆合計特殊出生率が低い
- ◆一人当たりの所得が県平均より低い



小学生を対象とした体験学習

#### 施策内容

1. 出会いを応援する
  - 1-1 婚活への支援
2. 妊娠・出産を応援する
  - 2-1 妊娠・出産への支援
3. 子育てを応援する
  - 3-1 子育て世代への包括支援
  - 3-2 子育てしやすい環境づくり
  - 3-3 地域で子どもを育てる環境づくり

## 基本目標4

# 安心して生涯暮らせる、夢の持てる地域社会をつくる

## 成果目標

目標項目	単位	実績値(H31)	目標値(R7)
市民と行政が一体となってまちづくりを進めるべきだと思う市民の割合	%	70	75

※まちづくり市民アンケートより算出

※人口動態統計調査より算出

## 策定設定

### 強み・機会

- ◆市内35行政区の地域住民を対象とした「行政区別タウンミーティング」、子ども・若者など様々な世代の方を対象とした「世代別タウンミーティング」を開催している
- ◆ボランティアや各種サークルなど、市民活動が盛んである
- ◆伝統行事が各地域で盛んであり、世代間交流がある
- ◆中山間地域で地域の維持・活性化を目指す住民団体等が設立されている
- ◆30代～40代の現役世代でまちづくりへの意識の高い人材が見られる
- ◆各地域にリーダーシップを発揮する人材が存在する
- ◆とうおん子ども科学&環境会議等、環境学習の学びの場がある
- ◆大規模災害に備えた関係機関との連携が始まっている



中山間地域における住民主体の取組

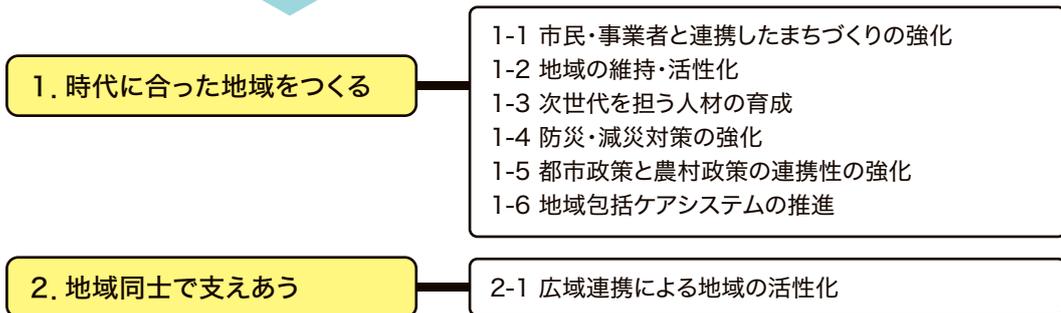


多世代交流拠点施設  
横河原ふらっとHOME

### 弱み・脅威

- ◆山間集落では子どもが減り、学校の存続が危惧される地域がある
- ◆高齢化と人口流出で、集落の維持が困難となっている地域がある
- ◆自治組織への未加入や、地域コミュニティの希薄化が進んでいる
- ◆地域活動の担い手不足により、一定の人に負担が集中している

### 施策内容





第 2 期  
**東温市まち・ひと・しごと創生  
総合戦略**

令和 2 年度 ～ 令和 7 年度  
令和 2 年 3 月

東温市 総務部 企画政策課  
〒791-0292 愛媛県東温市見奈良530番地1  
TEL:089-964-2001(代)